

CVDIPと 5つの ちから

ゼカリヤ 4章 6節

すると彼は、私に答えてこう言った。「これは、ゼルバベルへの主のことはだ。『権力によらず、能力によらず、わたしの霊によって』と万軍の主は仰せられる。

すべてのレムナントは、伝道者を助ける人、同労者、家主です。また、これから職業を持って、専門家として挑戦する分野と地域を守る見張り人、その現場ですべての人を生かす霊的司令官の役割をするようになるでしょう。そして、偶像神殿が文化を掌握しているいま、ホーリーメイソンとしてメイソン戦争をリードする絶対弟子として立てられるでしょう。未来に私のような弟子を残す、残す者の答えを受ける証人として神様に呼ばれました。

このために私たちは神様が与えてくださる上からの力を受けなければなりません。その力の中で最も大きな力を受ける秘訣は、24時です。もし、上から与えられる力を受けることに24時できるなら、世の中が与えることができない力が生まれるでしょう。そうすれば、私を通して現場にいやしが起きて、いつのまにかサミットの座にいるようになります。神様が私に与えてくださったC（契約を味わう霊力）、V（ビジョンを味わう知力）、D（夢を味わう体力）、I（イメージを味わう経済力）、P（作品を味わう人材力）を24時、味わうことができるように祈りましょう。その中から出て来る力で時代を変える証人になるでしょう。



きょうのみことば



きょうのいのり

神様、ありがとうございます。私のCVDIPを24時味わって、霊力、知力、体力、経済力、人材力に満たされた証人になりますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



書いてみよう

主の霊に満たされるとき、神様が私に与えてくださったCVDIPを24時味わうことができます。

きょう、神様からのみことばを黙想して（ ）にあう単語を聖書から探して書きましょう。

ゼカリヤ4章6節のみことば

すると彼は、

私に（ ）こう言った。

「これは、ゼルバベルへの

（ ）ことばだ。

『（ ）によらず、

（ ）によらず、

わたしの（ ）によって』と

（ ）の（ ）は仰せられる。



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゆんびん しりょう
準備する資料

Grid area for writing the daily devotion.

Blank lines for preparing materials.

れきしに のこる ふくいんの しょうにん

使徒
1章 8節

しかし、聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、および地の果てにまで、わたしの証人となります。

歴史を勉強するとき、私たちは過去に起こった出来事について確認することができます。今日の私たちの生活も、時がたてば次世代に歴史として残るようになります。私たちの時代を、教会がなくなっていく歴史として残すのか、世界福音化の伝道運動が起きた歴史として残すのかは、私たちの手にかかっています。

気づけば、アメリカの教会は一万個ほどなくなってしまいました。ヨーロッパでも、7千を越える教会がなくなったということです。アメリカの次に宣教師をたくさん派遣した韓国もやはり多くの教会が困難に陥っています。

イエス様は、世の終わりまで、いつも私たちとともにいると言われました。天の力を約束してくださり、地の果てまで、すべての国の人々に、全世界に出て行きなさいと言われました。私たちはこの契約を確かに握って、歴史に残る福音の証人として、次世代に確実な信仰の足跡を残さなければなりません。

今日、今このとき、次世代に福音とは何なのかをはっきりと説明することのできる証人になることを決断して祈りましょう。



きょうのみことば



きょうのいのり

神様、ありがとうございます。歴史において、世界福音化の証人として次の世代に正確な信仰の遺産を残すことができるように、証拠を与えてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



いろをぬろう

私たちは歴史に残る福音の証人として、世界福音化の道を歩いています。私たちの後に続く次世代に、どんな足跡を残したいのか道に書いて、色をぬって飾りましょう。



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび
準備する資料

40にち ちょうせん

使徒
1章3節

イエスは苦しみを受けた後、四十日の間、彼らに現われて、神の国のことを語り、数多くの確かな証拠をもって、ご自分が生きていることを使徒たちに示された。

「勉強がよくできて、世界福音化に用いられたらいいな」と思ったことがあるでしょう。欲しいものが手に入らない家の状態や、自分の思うとおりに動けないときに「このようなすべてを回復した証人になりたい」と思うこともあるでしょう。このような考えをすっきりと解決させる答えがあります。それは使徒1章3節、神の国です。私たちが40日間、夜も昼も関係なく、ずっと心配し続けたり、怒りがおさまらなかつたりすると、目に見えなくても必ず大きな問題が起きてしまいます。自分の頭で考えた事実でもないことを事実だと思ってしまう行動したり、深刻な不平不満を言うようになるかもしれません。そして、長引けば長引くほど苦しくなるでしょう。反対に、すべての事件や出会いには、必ず神様の計画があると思って、祈りながら神の国が臨む40日を始めましょう。今も生きて働かされる神様が、困難と苦しみには神様の完ぺきな計画があるということをお知らせできるようにさせていただきます。

今日から40日間、神の国が臨むように祈りましょう。幸せで平安な中で、すべてを祈りにつなげましょう。悩みがすべて消えて、神様のみことばが成就する証拠を見るようになるでしょう。



みことばを
てまよう
適用しよう

神様に深く祈る時間をずっと味わう40日に挑戦しましょう。はじめる前に、一日一日をどのように過ごすのかを考えてスケジュールを立ててみましょう。

40日挑戦スケジュール

きょうのみことば

きょうのでんどう

あひと
会う人

じゆんび
準備する資料

きょうのいのり

神様、ありがとうございます。不信仰と不平不満をでいっぱいになるのではなく、すべてを祈りにつなげる40日に挑戦することができるように、私に力を与えてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

かみさまが もちいられる ひととして じゅんび しよう!

使徒

6章 3~6節

そこで、兄弟たち。あなたがたの中から、御霊と知恵とに満ちた、評判の良い人たち七人を選びなさい。私たちはその人たちをこの仕事に当たらせることにします。そして、私たちは、もっぱら祈りとみことばの奉仕に励むことにします。

木に彫った文字は、木が育つにつれて、それと共に大きくなります。同じように、私にある考えや習慣は、私が成長するにつれて多くの影響を与えます。今日一日、私はどんなことを考えながら過ごしたいですか。心配、憎しみ、不安ばかりが頭を占めるとしたら、明日の私はどんな姿になるでしょうか。神様のみことばと祈りに集中していた信仰の偉人や先人を思い出してみましよう。私たちの心と考え以前に、私のたましいが神様のみことばの影響を受けて、祈りで考えが変わるなら、神様がまことの答えを与えてくださるでしょう。また、そのようなレムナントを通して、キリストが宣べ伝えられて、世界福音化の契約を成就されるでしょう。その主人公として私を呼ばれたという事実を忘れずに、私の考えに従うのではなく、神様にすべてを任せ祈りをしましょう。

使徒6章を見れば、教会に働き人を立てるときに、聖霊と知恵に満ちた人を立てたと記録されています。神様は私を10年、20年後に教会と伝道者を助ける重職者、産業人、レムナント指導者として立てる計画を持っておられます。今から神様に用いられるように、立派な考えを持った信仰の人として備えられるように祈りましよう。

きょうのみことば

きょうのいのり

神様、ありがとうございます。すべての考えを神様にささげる祈りに変えて、神様が用いられるレムナントとして備えられますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



読書旅行

6月は、どんな本を読みましょうか



太極旗をひるがして
ユグアンスン
柳寛順が行く

著者：ユン・アヘ | 出版：韓国第一チャイルドアカデミー

愛国ということばを聞くと、どんなことを思い浮かべますか。日本統治時代の朝鮮で独立を夢見ながら、そのために死をも覚悟した独立運動家の話を知っていますか。当時の朝鮮には多くの独立運動家がありました。その中でも、柳寛順さんは、三一独立運動の時に前に立った少女として伝えられています。小柄な少女(15歳)は、国の独立を夢見て堂々と立ち向かったのです。彼女の働きは祈りで始まりました。そして今は、神様が用いられた人物として人々の記憶に残っているのです。さて、私たちはどうでしょう。神様は目に見えないサタンに縛られている人々の霊的な解放を助ける伝道者として私たちを呼ばれました。この事実を覚えながら、6月には、韓国の独立を夢見て祈った祈りの人、柳寛順さんの話『太極旗をひるがえて柳寛順が行く』を読んで、サタンが私を縛っている部分は何かについて考えましよう。神様が用いてくださる人として準備される祈りが始まるでしょう。

(この本は韓国語です。日本語はありません。訳者注)

きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび
準備する資料

ただ ふくいんだけで िकास せんきょうし

ヨハネ
6章 63節

いのちを^{あた}与えるのは御^{みたま}霊^{たま}です。肉^{にく}は何^{なん}の益^{えき}ももたらしません。わたしがあ
なたがたに話^{はな}したことは、霊^{れい}であり、またいのちです。

福音^{ふくいん}はいのちです。この福音^{ふくいん}が入^{はい}った国^{くに}には、共通^{きょうつうてん}点^{てん}があります。キリスト^{きりすと}教^{きょう}
が爆^{ばく}発^{はつ}的に浸^{しん}透^{とう}して、医^い療^{りょう}と教^{きょう}育^{いく}が発^{はつ}展^{てん}しました。韓^{かん}国^{こく}にも、150年前^{ねん}前に宣^{せん}教^{きょう}師^しを
通^{とお}して福音^{ふくいん}が宣^{せん}べ伝^{でん}えられて、学^{がく}校^{こう}と病^{びょう}院^{いん}が建^たてられました。

韓^{かん}国^{こく}の初^{しゅ}期^きの宣^{せん}教^{きょう}師^しは、殺^{ころ}されたり、さげすまれたり、お^おく^くの苦^{くる}しみの中^{なか}、命^{いのち}
をかけて福音^{ふくいん}を宣^{せん}べ伝^{でん}えました。今^{いま}、宣^{せん}教^{きょう}師^しとして派^は遣^{けん}されている人^{ひと}々^{びと}も、や^ねはり根^ね
だけを残^{のこ}した切^きり株^{かぶ}のようになっても生^いき残^{ざん}って、世^せ界^{かい}中^{ちゅう}で福音^{ふくいん}を宣^{せん}べ伝^{でん}えていま
す。伝^{でん}道^{どう}と宣^{せん}教^{きょう}でたましいを生^いかす神^{かみさま}様^{さま}の働^{はたら}きをしているのです。

福音^{ふくいん}と宣^{せん}教^{きょう}をのがしたイスラ^いエ^えル^るの民^{たみ}を教^{きょう}訓^{くん}にして、人^{ひと}を生^いかすのはただ福音^{ふくいん}
だけであることを覚^{おぼ}えましょう。まず、私^{わたし}と私^{わたし}のまわりの友^{とも}だちのために祈^{いの}りは
じめましょう。神^{かみさま}様^{さま}は、三^{さん}位^い一^{いつ}体^{たい}の神^{かみさま}様^{さま}として私^{わたし}の背^{はい}景^{けい}とな^なって守^{まも}って、保^ほ護^ごして
くださり、暗^{くら}やみの離^{はな}れる答^{こた}えを与^{あた}えてくださるでしょう。全^{ぜん}世^せ界^{かい}237か国^{こく}を生^いかす
神^{かみさま}様^{さま}の計^{けい}画^{かく}に用^{もち}いられるレムナ^{れむな}ントとして成^{せい}長^{ちやう}するよう^{よう}に祈^{いの}りましょう。

きょうのみことば

きょうのいのり

神^{かみさま}様^{さま}、ありがとうございます。ただ福音^{ふくいん}だけが全^{ぜん}世^せ界^{かい}を生^いかす答^{こた}えであるとし^しる
宣^{せん}教^{きょう}師^しとして育^{そだ}つよう^{よう}に、私^{わたし}を導^{みちび}いてください。生^いきておられるイエス・キ
リス^いトのお名^な前^{まえ}によ^よって祈^{いの}りします。アーメン

ワーク



すべての人に、ただ福音^{ふくいん}だけが必^{ひつ}要^{よう}です。

つぎのページの伝^{でん}道^{どう}トラク^とトを作^{つく}って感^{かん}謝^{しゃ}する心^{こころ}と一^{いっ}緒^{しょ}に、
祈^{いの}っている人^{ひと}に渡^{わた}しましょう。

感謝^{かんしゃ}の心^{こころ}をこめた 伝^{でん}道^{どう}トラク^とトを作^{つく}ろう

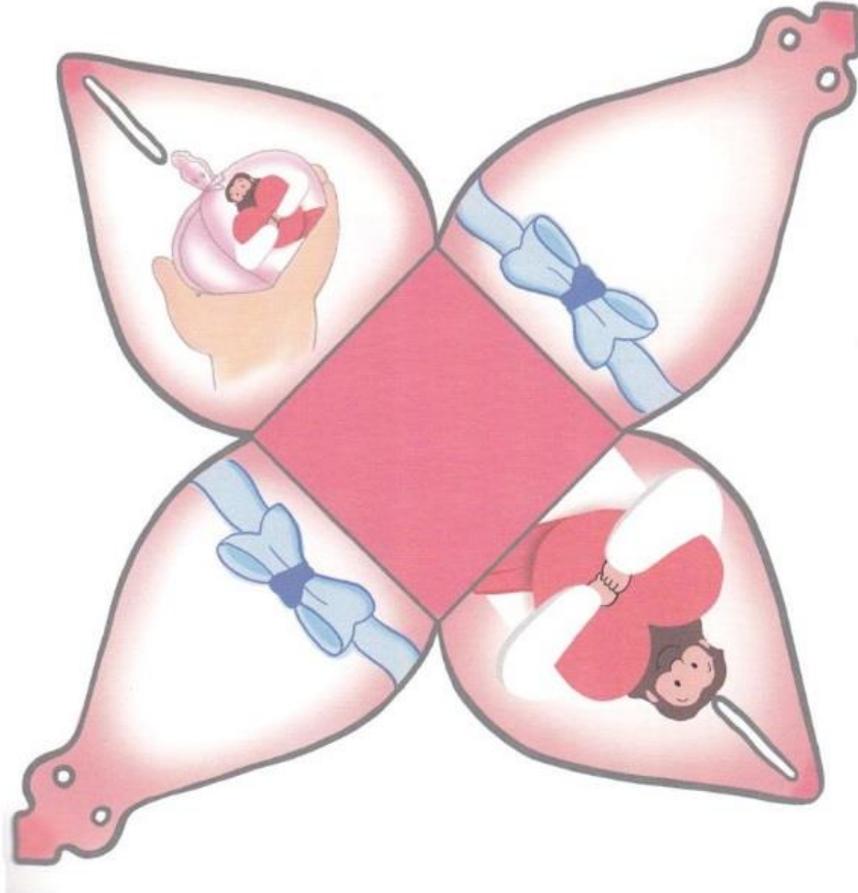
- 1 次のページ^{つぎ}の絵^えを実^{じつ}線^{せん}で切^きり抜^ぬきます。2つ^{ふたつ}の
絵^えを表^{おもてうら}裏^{うら}ではりあわせて、端^{はし}の線^{せん}をカッターで
少^{すこ}し切^きります。(カッターは気^きをつけて使^{つか}ってね)
- 2 イエス様^{イエスさま}の絵^えが
外^{はら}側^{がわ}に出^でるよう^{よう}にありま
- 3 カッターで切^きった部^ぶ分^{ぶん}に、両^{りょう}側^{がわ}から差^さし込^こんで
ありま
- 4 つつんだかたに
なればOKです。
中^{なか}に、こころを
こめて、ちいさな
プレゼ^ぷントを
入^いれま
- 5 受け入^{うけい}れの祈^{いのり}のカードを
表^{おもてうら}裏^{うら}ではりあわせて、伝^{でん}道^{どう}
トラク^とトを準^{じゅん}備^びできま

感謝^{かんしゃ}のこころをこめて
伝^{でん}道^{どう}トラク^とトとプレゼ^ぷントを
渡^{わた}しに行^いきま

きょうのでんどう

あひと
会^あう人^{ひと}

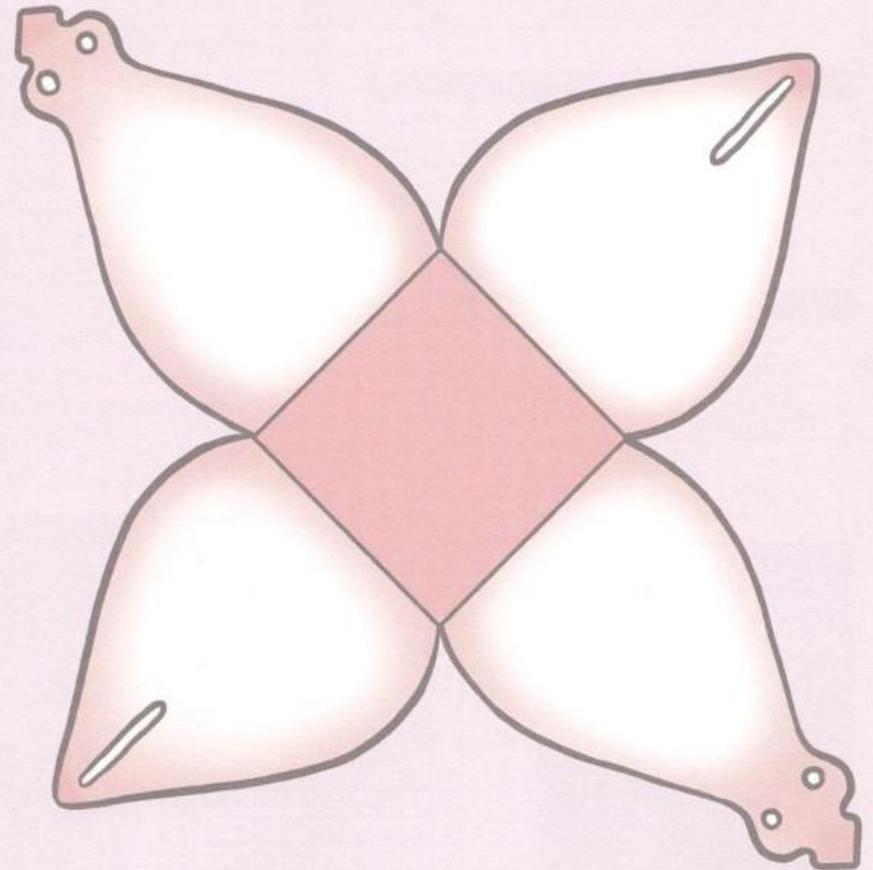
じゅんぶ
準備^{じゅんぶ}する資^{しりょう}料^{りょう}



両側の絵を切り抜いて
表裏ではりあわせて
つけてください。

受け入れの祈り
 神様、私は罪人です。
 いままで神様から離れて神様を知らずに
 生きてきました。そのような私のために、
 イエス様が身代りに十字架で死なれ、
 よみがって、私の主人として来られる
 準備をしてくださったことを信じます。
 いま、私の心のとびらを開きます。
 イエス様が入ってきてくださって私の主人
 になってください、私の生活を導いて
 ください。生きておられるイエス・キリスト
 の御名によってお祈りします。アーメン

おめでとう！あなたは神の子どもになり
 ました！



かみさまの あいを あかしする もの

使徒
1章8節

しかし、聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、および地の果てにまで、わたしの証人となります。

神様を離れた人々は、親からはぐれて迷子になった子どものように、世の中のすべてのものを持ってもし幸せではありません。神様を知らないから宗教にすがって、かりに教会に通っていたとしても、正しい福音を聞くことができなくて、間違った信仰生活をします。神様はそのような世の中に、正しい福音を伝えるために少数の人々を呼ばれました。神様が呼ばれたのは、どんな人でしょうか。

最初に、イエスがキリストであることを知っている人です（使徒1:1）。二つ目、神の国の背景を知っている人です（使徒1:3）。三つ目、ただ聖霊の力によって証人になる人です（使徒1:8）。四つ目、福音を知ってただ神様に祈りで集中する人です。（使徒1:14）。五つ目、24時間、起きるすべてのこと、事件に神様の計画があることを知っている人です。六つ目、私の力を超えて25時という神様の力を体験する人です。七つ目、ただ私だけができて、行くことができる答えを受けた人です。八つ目、237か国を生かす答えを受けた人です。そのような人は、苦しんでいる人々を、福音によって生かすことができます。私はどこまできたのか時刻表を確認して、神様の愛をあかしする者として準備しましょう。

きょうのみことば

きょうのいのり

神様、ありがとうございます。神様は、この世のすべての人を愛しておられ、私を伝道者として呼んでくださったことを信じます。8つの条件が整えられた伝道者となるように導いてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



きょうのみことばに書かれている8つが整えられた伝道者になるように祈りながら、伝道者の基準となる数字を通して、ゴールまで行きましょう。



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび
準備する資料
